

企業名 株式会社 本多建設
代表者 本多 勝一
所在地 安達郡岩代町字新町51番地3
TEL 0243(55)2012
FAX 0243(55)2200
資本金 2000万円
従業員数 40名(男性30人・女性10人)
事業内容 総合建設業
土木・建築・舗装・造園・水道・とび・土工
主要取引先 福島県・二本松市・岩代町・
東和町等公共機関・民間

企業の特徴

当社は先代社長(本多源三)が石材業に従事していましたが、昭和15年6月に土木建築請負業本多組として個人で創業しました。

昭和25年6月に福島県知事の許可を得て、土木建築請負業を登録し本格的な第一歩を歩み始め、昭和36年7月「有限会社本多建設」に法人成りし、さらに平成元年7月「株式会社本多建設」に改組し、現在に至っています。

昭和63年4月には、建設資材販売・一般貨物運送及び保険代理店としての関連会社である「株式会社新栄」を設立し、また事業拡大のため平成8年には二本松営業所を開設し組織の充実を図ってきました。

当社は、平成12年で創業60年を迎えましたが、偏に地域の皆様のお陰でこの地で営業が続けられたことを念頭におき、「地域に感謝し、地域に尽くします」をキャッチフレーズとし、「小さくてもキラリと光る会社」として邁進しています。

建設業は受注生産の形態であるため、当社は「地域住民こそ本当のお客様」を基本理念とし、発注者の方々から受注した製品(工事)を、当社の技術力により「安全第一」はもとより「品質第一」として納品しております。

また多数の建設業者の中で、今後勝ち残っていくための更なる技術力と経営力を向上させるべく、下記の4項目を当社の基本方針としています。

1. 経営者と社員の意識改革。
2. 計画的な受注の出来ない業種である中での力ある企業。
3. 信頼と安定性のある企業。
4. 時代の要請を先取りする企業。

近年、建設業界も電子化が進んでおり、デジタル時代へと変貌しつつあります。数年先は間違いなく

ペーパーレスの時代で、提出書類がフロッピー1枚だけという時代が目の前に来ているのが現状です。

当社も時代の先取りとして、最新のコンピューターや関連機器の導入を図り、社内ネットワークを構築し、専門講師を招き研修会で1人1台の時代に対応すべく研鑽を重ねています。

重機部門では、オペレーターが「オペレーター会」を組織し、月一度の定例会には専門講師を招き講習会、重機の点検、重機メーカーに出向き研修等を重ね、安全性と技術力の向上を目指しています。

そして、「安全の基本」として下記の3項目の徹底を図っています。

1. 会社は人命尊重を常に基本とする。
2. 社員は自分の身は自分で守る。
3. 安全に勝るコスト削減はない。

また、平成7年4月には事業方針に基づきCIを導入し、ロゴマークを一新しました。

従来のHKを基本とし、HとKを融合させ、精密的なイメージのブルーとヒューマン的なレッドでデザインされています。

Kのくは、漢字の「人」のシンボライズでもあり、建設・企業を支えるのは「人」であることをマークに託しています。そして、全体的に右上がりになっているのは、企業の上昇を醸し出す意味であります。

ロゴマークのとおり、当社は創業以来、景気の荒波を受けながらも事故もなく着実に歩んできました。

これからも21世紀に向かって、さらに情報力・技術力を高め、教育訓練等を充実させて、大手企業にも負けない内容にするための企業努力を重ねていきたいと話しています。

